

# 心を豊かにする図書館 をめざして

平成17年度  
小平市立図書館事業概要

平成18年10月

小平市立図書館

## はじめに

小平市のまちづくりの基本理念は、第二次長期総合計画の「高品質なまちの創造」から「躍動をかたちに 進化するまち」へと移行しようとしています。この転換期に当たる平成17年度は、小平市に最初の市立図書館が開館して30周年を迎える記念すべき年でした。

小平市に最初の小平市図書館（現仲町図書館）が開館したのは昭和50年で、多摩地域の26市の中で23番目の図書館の誕生となったのでした。そして、30年のあゆみの中で図書館ネットワークが整備され、現在では中央図書館1、地区図書館7、分室3の11の施設を整備し、市域の90パーセントがこれらの図書館から半径1キロメートル以内に入り、徒歩15分でいずれかの図書館に行き着ける環境となり、全国に誇れるサービス体制を築くことができました。

ちなみに、『日本の図書館2005』と『平成17年度東京都公立図書館調査』によって小平市の図書館を、人口15万～20万人の図書館設置42自治体及び多摩地域26市の自治体と比較してみると次のようになります。登録率は58.2%で、全国平均の36.9%を21.3%上回っており、多摩地域で2位です。蔵書数は1,186,953冊で全国1位、多摩地域で3位です。貸出冊数は1,483,023冊で、全国で4位、多摩地域で9位という状況です。また、この30年間に貸し出した本の数は3,236万7,575冊になりました。

しかし、図書館を取り巻く情勢は激しく動いており、平成18年3月には「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―」という報告書が文部科学省から出されています。この報告の副題に示されているように、これからの図書館は地域を支える情報拠点として、地域の課題解決に必要な資料や情報を提供し、地域や住民の課題解決を支援する機能の充実が求められています。このことを実現し、今後とも市民生活に欠かせない施設として機能するためには、現状に満足することなく、より一層の研究と努力が必要になっていることを自覚し、質の高いサービスの実践を図るとともに、「躍動をかたちに 進化する図書館」を創っていきたいと考えています。

さて、この資料は、市民の方々に、小平市の図書館活動を広く理解していただくために発行する事業報告書です。

昭和57年度から平成16年度までは「図書館事業概要」として発行してきました。その内容は、登録状況、貸出資料数、図書購入冊数、所蔵資料数等の諸統計、多摩六都広域事業として実施している多摩北部5市における図書館相互利用の広域行政統計、リクエスト及び相互貸借のリクエストサービス統計、カセットテープやCD・ビデオテープ等の視聴覚資料統計、レファレンス件数、講演会や展示会・おはなし会といった行事についての事業実績が掲載されている統計書でした。

しかし、内部資料としては統計書で十分であっても、図書館が実施している事業についてより多くの市民の方々に図書館サービスの内容を理解していただくためには、分かりやすい資料を作成し説明する視点が大切です。このために、今年度から名称を「心を豊かにする図書館をめざして」に改めるとともに、内容を一新して、「図書館サービス計画」及び「図書館事業計画」に基づいて実施したサービスについてまとめ、その事業内容について説明する報告書に変更しましたので、ご覧いただきたいと思えます。

# 目次

はじめに	1
目次	2
<b>図書館事業体制</b>	
1. 図書館配置図	4
2. 施設概要	4
3. 事務分掌	5
4. 予算概要	7
<b>図書館事業計画（平成17年3月23日決定）</b>	
はじめに	8
1. 目標	8
2. 事業計画	8
<b>平成17年度主要事業の成果</b>	
1. 情報技術の積極的な活用ー地域の情報拠点としてのシステム整備ー	12
2. 図書館ボランティアの育成	12
3. 祝日開館の本格実施	12
4. 「子ども読書活動推進計画」の実施と小・中学校との連携	14
5. 花小金井図書館移転の準備	14
6. 開館30周年記念事業	14
7. 学校図書館データベース化の実施	14
<b>この一年間の事業の成果</b>	
1. 図書館協議会の開催	16
2. 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用	17
3. 広域利用の推進	18
4. 図書資料等の収集・整理・保存・貸出	18
5. 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出	19
6. 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化	19
7. レファレンス業務	23
8. 講座等の開催	24
9. 展示会等の開催	24
10. 児童サービス	24
11. 小・中学校との連携	26
12. 障がい者・高齢者サービス	26
13. 遠距離通勤者サービス	27
14. 複写サービス	27
15. リクエストサービス	28

16. 図書館関係団体に対する援助・連携	28
17. 図書清掃の実施	29
18. 施設の運営管理	29
19. 蔵書管理	30
20. 職員研修及び施策形成参画機会の拡充	32
21. 実習生及び視察等の受入れ	32
22. 広報活動	33
23. 大学図書館との連携	34

#### 地区図書館の事業の成果

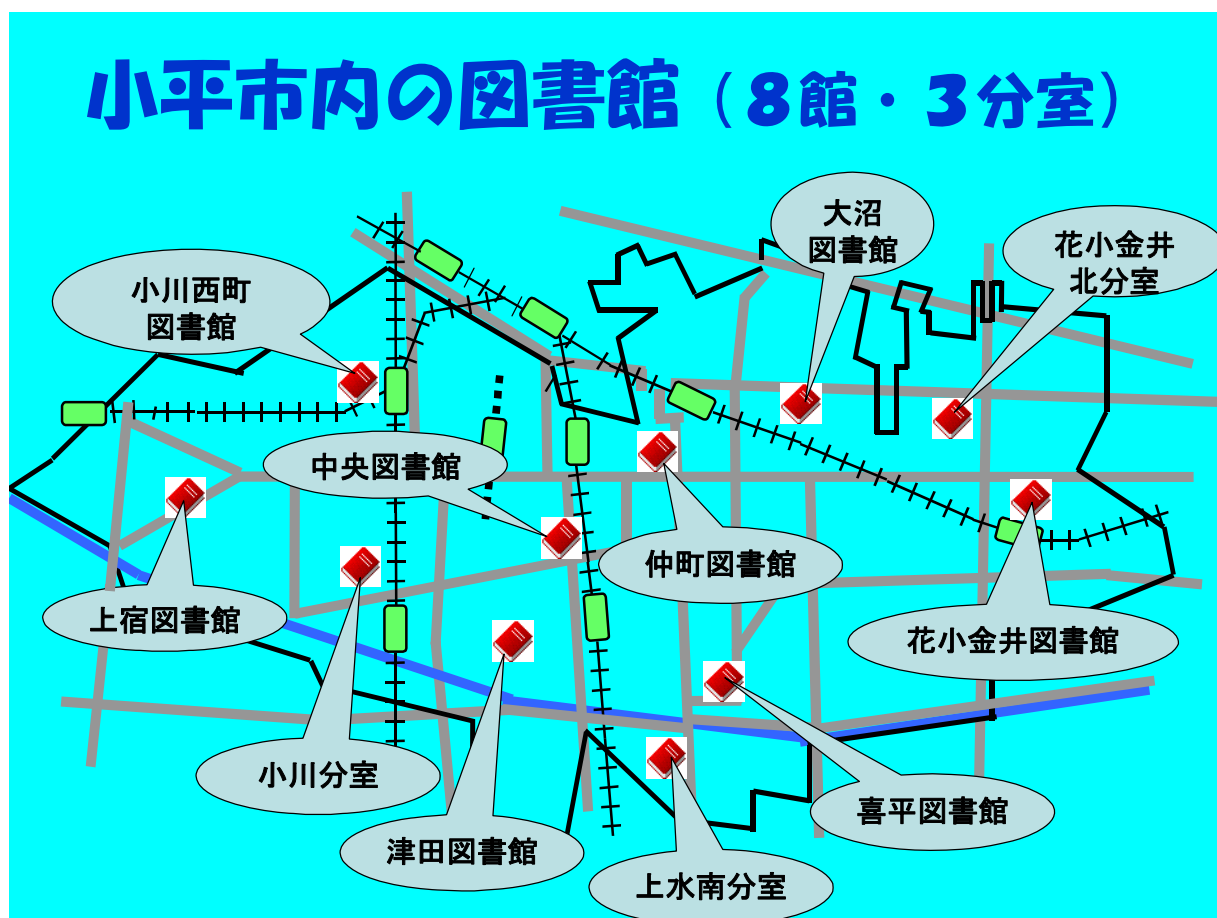
1. 仲町図書館	35
2. 花小金井図書館	35
3. 小川西町図書館	36
4. 喜平図書館	36
5. 上宿図書館	37
6. 津田図書館	37
7. 大沼図書館	38

#### 参考資料

資料1. 小平市立図書館サービス計画	41
資料2. 小平市立図書館への提言「心を豊かにする図書館を目指して」	53
資料3. 平成17年度小平市立図書館統計	63
資料4. 小平市子ども文庫連絡協議会事業報告	91

# 図書館事業体制

## 1. 図書館配置図



## 2. 施設概要

(単位㎡)

		中央図書館	仲町図書館	花小金井図書館	小川西町図書館	喜平図書館	上宿図書館	津田図書館	大沼図書館
床面積	延床面積	4,703.555	1,141.080	1,435.450	1,971.218	1,156.450	932.240	1,299.950	1,422.140
	地階	1,582.684	363.330	-	-	-	-	-	-
	1階	968.184	25.980	551.810	1,056.290	610.200	465.400	1,299.950	1,422.140
	2階	1,042.275	369.790	605.410	914.928	546.250	466.840	-	-
積	3階	1,018.907	312.270	278.230	-	-	-	-	-
	延開架面積	1,543.984	505.450	456.000	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
開架施設	一般開架室	1,301.250	197.160	456.000	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	参考室	242.734	109.350	-	-	-	-	-	-
	児童室	-	198.940	-	-	-	-	-	-
	お話室	37.429	28.960	30.000	37.194	37.038	30.880	28.300	48.220
閉架	閉架書庫	406.324	51.030	60.000	50.812	49.720	62.260	37.120	65.470
	古文書庫等	142.319	-	-	-	-	-	-	-

事務 用 施設	事務室	203.372	77.360	102.000	78.031	65.930	72.120	51.860	89.480
	会議室	66.591	48.780	-	-	-	-	-	-
	作業室	71.381	-	-	-	19.290	-	-	-
	職員休憩室	70.037	28.960	30.000	36.618	36.925	34.050	24.700	-
	応接室	22.678	-	-	-	(約 5.63)	8.400	11.520	-
	更衣室	23.963	-	-	2.860	(約 1.72)	1.640	-	-
	倉庫	116.452	-	12.000	-	28.425	17.650	-	9.260
共用 施設	玄関	36.761	-	29.410	25.497	26.748	14.840	-	29.810
	便所	116.925	-	43.000	30.511	57.477	62.560	-	37.680
	エレベーター、 階段、廊下	426.494	-	116.500	119.808	147.810	109.300	-	-
管 理 施 設	機械室	439.317	95.690	12.000	16.838	9.084	8.000	24.320	-
	警備員室	-	-	-	-	3.000	3.200	-	-
	委託員控室	14.772	-	-	-	9.648	5.440	-	14.870
集会室	-	-	-	-	150.090	101.000	-	-	
その他	964.756	304.850	16.230	53.628	8.600	12.570	16.330	108.350	
図書館専有 床面積	4,703.555	1,141.080	907.140	994.888	1,156.450	932.240	603.890	837.480	

### 3. 事務分掌（平成18年4月1日現在）

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館の総合計画の企画・立案及び調整に関すること。</li> <li>○ 施設、設備及び備品の維持管理に関すること。</li> <li>○ 図書館職員の研修に関すること。</li> <li>○ 公印の管守に関すること。</li> <li>○ 図書館情報システムの開発、維持管理及び運用に関すること。</li> <li>○ 図書館サービスの利用統計及び調査に関すること。</li> <li>○ 図書館のPR及び広報に関すること。</li> <li>○ 多摩六都図書館協力事業の調整に関すること。</li> <li>○ 図書館実習生等の受入に関すること。</li> <li>○ 図書館協議会に関すること。</li> <li>○ 予算、決算、契約及び経理に関すること。</li> <li>○ 館内の文書及び物品の管理に関すること。</li> <li>○ 各係及び地区図書館の連絡調整に関すること。</li> <li>○ その他、館内他係及び地区図書館に属さないこと。</li> </ul>
サービス係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合カウンターのサービス及び運営に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の利用及び貸出に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の相互貸借及びリクエストに関すること。</li> <li>○ 児童サービスに関すること。</li> <li>○ 障がい者サービスに関すること。</li> <li>○ 図書館行事（講座、講演会、おはなし会、展示会等）の開催に関すること。</li> <li>○ 分室の運営に関すること。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との連絡及び調整に関すること。</li> <li>○ 学校図書館の支援に関すること。</li> <li>○ 市内の学校及び子ども文庫との連携に関すること。</li> <li>○ 図書館ボランティアに関すること。</li> <li>○ 子ども読書活動の推進に関すること。</li> <li>○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない図書館サービスに関すること。</li> </ul>
資料係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 蔵書計画に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の発注及び受入並びに参考資料及び地域資料を除く図書館資料の選定、収集及び整理に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の維持管理、補修、除籍、廃棄及びリサイクルに関すること。</li> <li>○ 図書館資料の受贈及び受託に関すること。</li> <li>○ 開架及び閉架書庫の資料管理に関すること。</li> </ul>
調査係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参考室カウンターのサービス及び運営に関すること。</li> <li>○ 参考調査及び読書相談に関すること。</li> <li>○ 参考資料及び地域資料の選定、収集及び整理に関すること。</li> <li>○ 参考資料及び地域資料の維持管理、補修、除籍及び廃棄に関すること。</li> <li>○ 特別文庫に関すること。</li> <li>○ 古文書及び古書の受贈及び受託に関すること。</li> <li>○ 古文書及び古書の整理、調査、出版、展示等に関すること。</li> </ul>
地区図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査、統計及び広報に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の購入に係る資料作成に関すること。</li> <li>○ 施設、設備及び備品の維持管理に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の選定、収集、整理及び保存に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の利用及び貸出に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の廃棄に係る資料作成に関すること。</li> <li>○ 図書館資料の相互貸借に関すること。</li> <li>○ 読書会、講演会、おはなし会、鑑賞会、資料展示会、その他集会に関すること。</li> <li>○ 読書相談及び参考調査に関すること。</li> <li>○ 図書及び書架の整備に関すること。</li> <li>○ 公印の管守に関すること。</li> <li>○ 地区図書館内の文書及び物品管理に関すること。</li> <li>○ 集会室（喜平図書館、上宿図書館）の貸出に関すること。</li> <li>○ 地域資料に関すること。</li> </ul>

## 4. 予算概要

(単位千円)

事業名		17年度	16年度	増減
図書館費合計		1,212,829	997,402	215,427
図書館人件費		474,257	478,363	△4,106
中央	中央図書館運営管理事業	89,067	88,795	272
	図書館情報総合管理システム運営事業	37,869	38,851	△982
	(社会教育活性化のための情報基盤の整備と地域連携)	17,214	7,471	9,743
	古文書の収集・整理・保存事業	7,790	8,499	△709
	地域資料の収集・整理・保存事業	613	631	△18
	障がい者福祉推進事業	890	901	△11
	視聴覚事業	660	660	0
	図書資料の収集事業	55,120	55,370	△250
	合計	209,223	201,178	8,045
仲町	仲町図書館運営管理事業	26,688	27,066	△378
	逐次刊行物及びタウン誌の収集・整理・保存事業	112	112	0
	合計	26,800	27,178	△378
花小金井	東部市民センター施設管理事業	39,535	18,239	21,296
	東部市民センター移転事業	318,489	132,350	186,139
	花小金井図書館運営管理事業	13,893	11,362	2,531
	新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業	1,229	1,188	41
	合計	373,146	163,139	210,117
小川西	西部市民センター施設管理事業	21,398	23,594	△2,196
	小川西町図書館運営管理事業	10,925	11,030	△105
	障がい者サービス事業	161	163	△2
	合計	32,484	34,787	△2,303
喜平	喜平図書館運営管理事業	25,202	26,778	△1,576
	郷土写真資料の収集・整理・保存事業	376	424	△48
	合計	25,578	27,202	△1,624
上宿	上宿図書館運営管理事業	22,174	23,531	△1,357
	合計	22,174	23,531	△1,357
津田	津田図書館・公民館施設管理事業	13,431	13,477	△46
	津田図書館運営管理事業	10,737	10,800	△63
	(ポスター・パンフレット及びリーフレットの収集・整理・保存)		14	△14
	合計	24,168	24,291	△123
大沼	大沼図書館・公民館施設管理事業	14,019	14,347	△328
	大沼図書館運営管理事業	10,980	10,852	128
	(地方出版物収書)		5	△5
	合計	24,999	25,199	△200
事業費合計		738,572	526,505	212,067



# 図書館事業計画 (平成17年3月23日決定)

## はじめに

図書館を巡る近年の動向としては、平成12年12月に文部省地域電子図書館構想検討協力会議によって「2005年の図書館像―地域電子図書館の実現に向けて―」が提言され、平成13年7月には文部科学省によって「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、同年12月には「子どもの読書活動に関する法律」が成立しています。また、平成16年3月には中央教育審議会生涯学習分科会から「今後の生涯学習の振興方策について」が報告され、平成17年2月の「IT政策パッケージ2005」には「住民に身近な地域の情報拠点として、医療・法律・ビジネスに関する情報提供等の多様な図書館サービスの促進を図るため、2005年度中に今後の図書館の在り方についての検討を行うとともに、引き続き図書館司書の能力の向上を図る。」とされています。

高度情報化・国際化・高齢化の時代を迎え、利用者のニーズが多様化している現在、小平市立図書館としても時代の変化に対応した図書館サービスを実施することが必要です。

小平市立図書館は、以上のような動向を踏まえながら、次のとおり平成17年度の事業計画を定めます。

## 1 目標

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」を目指して次の目標を掲げ、多様化する市民ニーズに応えていきます。

- (1) 図書館がより豊かで質の高いサービスを提供できるよう情報技術の積極的な活用を図っていきます。とりわけ、地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、インターネットを活用したシステムの整備を行います。
- (2) 図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図るため、世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティア組織を立ち上げます。
- (3) 利用者の利便性の向上を図るため、祝日開館を本格実施いたします。
- (4) 「小平市子ども読書活動推進計画」に基づき、小・中学校との連携を深めていきます。
- (5) 花小金井駅北口都市基盤整備事業に伴う東部市民センター（花小金井図書館）移転の準備に努めます。（平成18年5月オープン予定）
- (6) 昭和50年5月に最初の市立図書館として仲町図書館が開館して、今年で30年を迎えるため、30周年記念事業を実施します。
- (7) 社会教育活性化21世紀プラン（文部科学省受託事業）を推進します。

## 2 事業計画

目標に掲げた事項を効率的に推進するため、最小の経費で最大の効果を挙げられるよう、次の具体的な事業を実施する。

- (1) 図書館協議会の開催  
図書館協議会（年6回開催）の意見を反映して、図書館サービスの向上を図る。
- (2) 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用  
利用者数及び図書資料数の増加に対応したスムーズな事務処理を維持するため、図書館オンラインシステムによる利用者情報、資料情報の管理及び運用に努める。
  - ① 図書館オンラインシステム及びインターネット対応の整備
  - ② 書誌データの整備
  - ③ 地域資料の電子化の推進

(3) 広域利用の推進

図書資料に対する利用要求の多角化・即応化に因って、都立図書館、多摩六都（小平市・東村山市・東久留米市・清瀬市・西東京市）をはじめ公立図書館との相互協力による利用サービスを推進する。

- ① 都立図書館及び多摩地区公立図書館との相互貸借の推進
- ② 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進
- ③ 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

(4) 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

市民の生涯学習の多様化・高度化する資料要求に因るため、より新鮮で魅力のある資料のそろっている図書館となるよう、各館の収集分担により新刊図書等の収集に努める。

(5) 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

中央図書館での館内視聴と視聴覚資料の貸出をする。

- ① 録音資料（朗読カセットテープ）
- ② 映像資料（ビデオテープ・DVD）
- ③ 音楽資料（コンパクトディスク・カセットテープ）

(6) 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の郷土理解を深めるため、地域に関する資料及び古文書の収集・整理・記録及び保存に努める。また、ホームページの地域資料のデジタル化をより推進する。

- ① 地域（郷土）資料（タウン紙・誌を含む）
- ② 行政資料（国・東京都・市刊行物等）
- ③ 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成
- ④ 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存）
- ⑤ 市報及び市内関係リーフレット・パンフレット・ポスター等
- ⑥ 特別文庫の整理
- ⑦ 古文書
  - ・ 古文書の寄託受入・整理・保存
  - ・ 「小平市史料集第18・19集」の発行
  - ・ 東京都指定文化財「小川家文書」の補修
- ⑧ こどもきょうどしりょうのデジタル化
- ⑨ 地域情報リンク集の充実

(7) レファレンス業務

利用者の資料相談に対応するため、各種辞典・辞書・目録・索引・年鑑・統計書・法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンス業務の充実を図る。

- ① レファレンス資料の再整理及びデータベースの充実
- ② 小・中学校の総合学習や調べ学習の支援
- ③ 行政情報サービス及び調査支援の検討
- ④ 商業用データベースの活用

(8) 講座等の開催

- ① ボランティア講座
- ② 児童文学講座
- ③ 昔話講座
- ④ おはなし学習会

(9) 展示会等の開催

- ① 図書資料展示会

- ② 障がい者対象図書資料展示会（小川西町図書館）
- ③ 全国地方新聞元旦号展（中央図書館・大沼図書館）
- (10) 児童サービス
  - ① 子ども読書活動の推進に関する啓発事業等の実施
  - ② 「小平市子ども読書活動推進計画」の推進
  - ③ おはなし会（全館・定例）
  - ④ 絵本のへや（全館・定例）
  - ⑤ 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置
  - ⑥ 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践
  - ⑦ 児童書の分類作業促進及び蔵書管理の検討
  - ⑧ 子ども文庫への図書団体貸出
- (11) 小・中学校との連携
 

学校が進める総合的な学習の側面的支援を行う。

  - ① 図書館見学・図書団体貸出・読み聞かせ学習指導の支援
  - ② 学校図書館との連携の強化
  - ③ 職場体験学習の受入
  - ④ 学校図書のデータベース化
- (12) 障がい者・高齢者サービス
 

大型活字本、拡大写本、点字図書の購入、布の絵本（さわる絵本）の作成、貸出及びPRを推進する。

  - ① 対面朗読
  - ② 録音図書（カセットテープ等）の作成及び貸出
  - ③ 在宅障がい者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施
  - ④ 障がい者宅配サービスの研究
  - ⑤ 福祉講演会（小川西町図書館）
  - ⑥ 障がいをもった児童・生徒に対する読み聞かせの実施
  - ⑦ 点字図書目録（点字版）及び点訳絵本の作成
- (13) 遠距離通勤者サービス
 

開館時間内の来館が困難な遠距離通勤者に本の受け取りの便宜を図るため、公民館での夜間貸し出しができるよう準備する。
- (14) 複写サービス
  - ① 図書資料の複写サービス
  - ② 図書館集会室利用者への複写サービス
- (15) リクエストサービス
 

利用者の求める資料・情報の提供に努める。

  - ① 所蔵図書の利用予約（貸出予約）
  - ② 未所蔵図書の購入（リクエスト購入）
  - ③ 相互利用による資料の貸借
- (16) 図書館関係団体に対する援助・連携
 

図書館と関係の深い、子ども文庫連絡協議会・社会福祉協議会・図書館友の会との連携を図り、利用しやすい図書館、親しみやすい図書館づくりに努める。

  - ① 補助金の交付（子ども文庫連絡協議会）
  - ② 事業活動への協力及び共催事業の開催

(17) 図書清掃の実施

返却図書等の清掃により清潔な図書を提供する。

(18) 施設の運営管理

- ① 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理
- ② 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）
- ③ 各図書館の施設・設備改修計画の見直し

(19) 蔵書管理

図書資料の購入、寄贈図書の受入、資料の除籍・廃棄、リサイクルを計画的に進め、的確な蔵書管理を行うとともに、より新鮮な情報提供ができる蔵書管理体制を確立する。

- ① 未返却図書の督促
- ② 図書の整理・補修
- ③ 図書の選書・発注・受入
- ④ 除籍図書・寄贈図書のリサイクル
- ⑤ 蔵書管理基準の再検討

(20) 職員研修及び施策形成参画機会の拡充

- ① 司書講習会への派遣
- ② 実務研修・各種研究会への参加
- ③ 各種職場研修の実施

(21) 実習生及び視察等の受入れ

- ① 図書館実習生（大学生等）の受入
- ② 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入

(22) 広報活動

- ① 夏休み親子一日図書館員の開催
- ② 図書館紹介、利用案内、館カレンダー、多摩六都図書館ガイドブック等の作成・配布
- ③ 新刊・新着図書案内の発行
- ④ 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）
- ⑤ 図書館標語の活用
- ⑥ 図書館ホームページの整備・活用

(23) 大学図書館との連携

市民の利便性向上を図るため、市内大学図書館との相互利用を進める。

# 平成17年度主要事業の成果

## 1. 情報技術の積極的な活用—地域の情報拠点としてのシステム整備—

【平成14・15年度】

- ・ 郷土写真のデジタル化

【平成15・16年度】

- ・ 郷土写真のデジタル化
- ・ 小平に関する新聞記事の摘要のデジタル化
- ・ レファレンス事例のデジタル化
- ・ 古文書目録のデジタル化
- ・ 「としょかんこどもきょうどしりょう」のデジタル化

本年度は、以上の成果を活用し、図書館ホームページを使って記事検索や内容の提供をしてくために、ホームページの更新について研究を進めました。

## 2. 図書館ボランティアの育成

これは、第3次行財政改革プランの一つとして進めてきた事業で、昨年度に実施した5回のボランティア講座と2回の懇談会を受けて、本年度は本格実施をめざしました。5月5日号の市報で個人ボランティアを募集し、50人弱の登録がありました。

図書館ボランティア活動の実施結果は次のとおりです。

【表1】図書館ボランティア活動の実施結果

仕事の内容	参加の日数	参加の人数
図書の修理や除籍処理等	129日	436人
古文書解読	37日	195人
合計	166日	631人

## 3. 祝日開館の本格実施

祝日開館については、平成16年10月から平成17年9月までの試行期間を経て、次のように平成17年10月から本格的に実施しました。

この実施により、中央図書館及び地区図書館全館で各々開館日数が11日間増加しました。

- (1) 全館（8館）を祝日開館する。（ただし、元日と金曜日（休館日）は除く。）
- (2) 祝日と重なった第3木曜日も開館する。
- (3) 開館時間は日曜日と同様とし、午前10時から午後5時までとする。
- (4) 職員体制は日曜日と同様とし、半数勤務で振替休暇とする。

【表2】祝日開館の利用実績

日付	中央	仲町	花小金井	小川西町	喜平	上宿	津田	大沼	計
H16.10.11	391	118	171	144	166	82	159	105	1,336
H16.11.3	335	117	148	104	161	91	123	110	1,189
H16.11.23	348	136	214	122	212	102	131	92	1,357
H16.12.23	301	117	155	123	154	107	134	105	1,196
H17.1.10	487	155	205	156	208	123	177	158	1,669
H17.3.21	352	119	193	110	195	105	150	115	1,339
H17.5.3	277	101	122	87	149	81	114	90	1,021
H17.5.4	263	87	132	94	122	72	104	85	959
H17.5.5	348	108	196	100	179	78	138	102	1,249
H17.7.18	453	135	182	127	201	127	144	112	1,481
H17.9.19	498	138	209	151	232	125	182	109	1,647
H17.10.10	457	122	187	143	207	84	128	128	1,459
H17.11.3	441	107	220	145	138	108	149	125	1,435
H17.11.23	443	135	222	132	226	123	136	121	1,538
H18.1.9	472	150	244	184	217	106	168	133	1,645
H18.2.11	607	241	299	226	328	141	235	186	2,263
H18.3.21	322	120	159	96	193	112	131	113	1,246
合計	6,795	2,206	3,258	2,244	3,288	1,767	2,503	1,989	24,029
祝日平均	400	130	191	132	193	103	147	117	1,413

【表3】祝日貸出冊数

日付	中央	仲町	花小金井	小川西町	喜平	上宿	津田	大沼	計
H16.10.11	1,204	393	472	435	487	258	427	335	4,011
H16.11.3	922	333	390	312	492	286	409	369	3,513
H16.11.23	978	426	583	369	698	319	373	352	4,098
H16.12.23	1,047	327	379	289	450	284	392	337	3,505
H17.1.10	1,419	473	496	501	617	341	554	530	4,931
H17.3.21	954	355	542	312	568	306	415	374	3,826
H17.5.3	810	295	277	235	437	231	302	261	2,848
H17.5.4	720	186	312	262	356	219	286	271	2,612
H17.5.5	955	332	418	304	466	199	366	299	3,339
H17.7.18	1,328	329	562	367	527	309	436	356	4,214
H17.9.19	1,418	427	562	444	660	378	556	397	4,845
H17.10.10	1,476	394	438	410	561	249	368	506	4,405
H17.11.3	1,273	338	580	420	381	298	416	416	4,124
H17.11.23	1,231	438	549	412	599	395	380	376	4,380
H18.1.9	1,433	485	707	505	640	288	523	476	5,058
H18.2.11	1,625	681	764	627	895	456	686	624	6,358
H18.3.21	947	415	402	233	503	316	358	369	3,543
合計	19,740	6,627	8,433	6,437	9,337	5,132	7,247	6,648	69,610
祝日平均	1,161	390	496	379	549	302	426	391	4,094

## ひとロメモ

これらの表を見ると、祝日の貸出者数の1日平均は1,413人で、貸出冊数の1日平均は4,094冊です。また、利用統計を見ると平成17年度の1日平均の貸出者数は1,810人で、貸出冊数は5,167冊です。このことから、本格実施をはじめた平成17年度は利用者数及び貸出冊数ともに祝日の利用は1日平均に及ばないのが現状です。

### 4. 「子ども読書活動推進計画」の実施と小・中学校との連携

これは、本年3月に策定された「子ども読書活動推進計画」の第四章部分を実施のための計画の実施結果です。

- ①最初の取り組みとして、子ども読書月間として4月2日から5月5日までの期間に、全館で19の「子ども読書の日に関する」事業を開催しました。内容としては、親と子の土曜絵本ひろば、こども読書相談、ロシアの絵本展などでした。
- ②小・中学校の連携としては、学級文庫への団体貸出、図書館見学会、総合学習・調べ学習の受入れ、図書館と学校との連絡会議を開催しました。
- ③指導課との連携を図り、学校図書館運営相談に応じ、中央図書館を会場に司書教諭の研修の機会を設けました。

### 5. 花小金井図書館移転の準備

- ①花小金井図書館の移転準備については、建物工事が平成18年2月に竣工し、3月には書架や表示の追加工事を実施しました。
- ②1月からは閉架書庫の箱詰めを開始して引越しの準備を進め、平成18年5月8日にリニューアルオープンしました。

### 6. 開館30周年記念事業

昭和50年5月18日に小平市に最初に図書館が開館し、平成17年度は開館以来30周年を迎えることになり、以下のような記念事業を開催しました。

- ・ 森まゆみ氏の講演会
- ・ 「図書館しゃべり場」（助言者：竹内さとる氏）など13の事業
- ・ 『小平市立図書館30年のあゆみ』の刊行
- ・ 『小平市立図書館開館30周年記念事業記録集—図書館は夢と知識の宝島—』の刊行
- ・ 『小平市立図書館開館30周年記念事業図書館しゃべり場記録集』の刊行

### 7. 学校図書館データベース化の実施

平成16年・17年度の2か年継続事業として文部科学省の委託を受けて「社会教育活性化21世紀プラン」を実施する予定でした。しかし、本年度は文部科学省の委託事業が不採択となったため、9月に小平市一般予算の補正を行い、この事業の最優先課題である学校図書館のデータベース化に絞って実施することになりました。

この結果、小平市立の小学校19校で13万3千700冊、中学校8校7万7千400冊、合計21万冊を超える蔵書のデータ入力終了し、子どもの読書活動推進のための情報基盤が整いました。

このデータ入力については、「小平市子ども読書活動推進計画」の実施のための計画では3か年以上の継続事業と予定していましたが、校長会及び各学校の努力によって、小学校全校において学校図書館ボランティアの協力を得ることができ、予想を超えるスピードで作業が終了しました。

この作業に参加した学校図書館ボランティアは、合計 91.5 日間にわたり、延べ 1,514 人に及びました。

【表 4】学校図書館蔵書登録状況

平成 17 年 3 月現在

<小学校>

番号	学校名	登録冊数	作業期間	作業日数
1	第一小学校	6,761	2005.12.17~12.26	3.5
2	第二小学校	6,082	2005.12.05~12.07	2.5
3	第三小学校	8,971	2005.01.30~02.10	5
4	第四小学校	7,819	2005.09.10~09.13	2.5
5	第五小学校	5,772	2005.08.09~08.11	2.5
6	第六小学校	9,116	2005.10.11~10.21	8
7	第七小学校	9,157	2005.10.24~10.28	5
8	第八小学校	8,119	2005.09.20~09.26	4
9	第九小学校	7,311	2005.08.12~08.17	8
10	第十小学校	7,341	2006.02.13~02.24	3.5
11	第十一小学校	8,010	2005.07.13~07.21	6
12	第十二小学校	7,727	2005.11.07~11.21	5
13	第十三小学校	4,375	2005.10.01~10.02	1.5
14	第十四小学校	5,946	2005.02.01~02.10	8
15	第十五小学校	7,791	2005.02.14~02.28	11
16	花小小学校	6,036	2006.01.23~01.27	3
17	鈴木小学校	5,337	2005.07.25~07.29	4.5
18	学東小学校	5,584	2006.01.10~01.14	3
19	上宿小学校	6,446	2005.11.28~12.02	5
	合計	133,701		91.5

<中学校>

番号	学校名	登録冊数	作業期間	
1	第一中学校	8,353	2006.01.20~01.31	
2	第二中学校	12,089	2005.11.08~11.21	
3	第三中学校	11,547	2006.02.06~02.17	
4	第四中学校	9,988	2006.03.20~03.29	
5	第五中学校	11,119	2005.11.28~12.09	
6	第六中学校	9,174	2006.03.06~03.15	
7	上水中学校	7,384	2006.01.04~01.17	
8	花小金井南中学校	7,812	2006.02.20~02.28	
	合計	77,466		



## この一年間の事業の成果

### 1. 図書館協議会の開催

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対し意見を述べる機関として、小平市図書館条例により設置している諮問機関です。今年度の主な審議案件は、次のとおりです。

【表5】平成17年度図書館協議会の審議案件

回	開催日	審議案件等
1	平成17年5月12日(木)	(1) 報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○平成17年度蔵書点検の実施について ○小平市資料集第16集・第17集の刊行について ○平成16年度図書館事業報告について ○平成17年度司書講習への職員派遣について ○提言「心を豊かにする図書館を目指して」に対する対応方針について ○小林市長のマニフェストについて ○花小金井図書館移転計画について ○図書館ボランティアの個人登録について ○ブック・リサイクルの予定について ○開館30周年記念事業について (2) 協議事項 ○会長及び副会長の選任について ○社会教育委員の推薦について
2	平成17年7月14日(木)	(1) 報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○資料の予約状況について ○平成17年度蔵書点検の結果について ○実習生の受入れについて ○図書館ボランティアの募集について ○図書館祝日開館について ○社会教育活性化21世紀プランについて (2) 協議事項
3	平成17年9月29日(木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○実習生の受入れについて ○図書館祝日開館について ○市議会9月定例会について ○小平市民参加の推進に関する指針について ○小平市審議会等の会議の公開に関する事務取扱要領について ○文字・活字文化振興法について ○都立図書館改革の基本的方向について ○図書館ボランティアの個人登録について ○学校図書館データベース化について ○図書館開館30周年記念事業について ○市制施行43周年記念式典表彰について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ブック・リサイクルについて</li> <li>(2)協議事項</li> </ul>
4	平成17年11月10日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館運営状況について</li> <li>○平成16年度決算特別委員会について</li> <li>○図書館開館30周年記念事業について</li> <li>○学校図書館データベース化の進捗状況について</li> </ul> </li> <li>(2)協議事項</li> </ul>
5	平成18年1月12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館運営状況について</li> <li>○12月議会について</li> <li>○図書館開館30周年記念事業の結果について</li> <li>○学校図書館データベース化の進捗状況について</li> <li>○ふるさと新聞元旦号展について</li> <li>○多摩地域公共図書館大会について</li> <li>○学校図書館相談嘱託職員について</li> </ul> </li> </ul>
6	平成18年3月30日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>○図書館運営状況について</li> <li>○3月議会について</li> <li>○ブック・リサイクルについて</li> <li>○学校図書館データベース化の完了について</li> <li>○AEDの全館配置について</li> <li>○花小金井図書館の臨時閉館と移転作業及び開館セレモニーについて</li> </ul> </li> <li>(2)協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成18年度事業計画(案)について</li> </ul> </li> <li>(3)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>○年間会議日程について</li> <li>○子ども文庫からの「小平市子ども読書活動推進計画」に対する提言について</li> </ul> </li> </ul>

## 2. 図書館オンラインシステムによる図書館情報の管理運用

### (1) 図書館オンラインシステム及びインターネット対応の整備

小平市立図書館全館をコンピュータネットワークで結ぶオンラインシステムは、昭和60年8月よりコンピュータ会社と共同開発し、昭和61年2月から第一次オンラインシステムが稼動を開始し、この間スタッフによる開発が続けられました。

昭和62年4月に第二次オンラインシステムが稼動を開始し、同10月から正式に完全稼動を開始しました。さらに、平成14年10月従来の中央処理方式に替わりパソコンの分散方式による新電算システムが稼動し、インターネットによる蔵書検索が可能となり、平成15年7月には、インターネットによる図書予約を開始しました。

### (2) 書誌データの整備

現在の書誌データ(資料の書名・著者名・出版社などの目録上の記録)には、一部書名・著者名等がひらがなやカタカナ表記になっているものがあり、同一書誌が重複して登録されているものがあるため、それらを随時訂正及び統合して書誌データの整備を進めました。

また、簡易な書誌データは、より詳細で検索しやすいデータに訂正しました。

### (3) 地域資料の電子化の推進

生涯学習社会の到来とともに、市民の多様なニーズに応えるために、図書館が中心となり、様々な機関と連携して事業を実施し、地域資料における情報の提供を図りました。

### 3. 広域利用の推進

#### (1) 都立図書館及び多摩地区公立図書館との相互貸借の推進

【表6】相互貸借の推進

年度	貸借	都立図書館	多摩六都	その他	合計冊数	比率
平成15年度	貸出	22冊	1,611冊	1,463冊	3,096冊	
	借用	3,341冊	1,035冊	722冊	5,098冊	
平成16年度	貸出	17冊	2,176冊	1,603冊	3,796冊	22.6%
	借用	3,012冊	876冊	1,089冊	4,977冊	△2.4%
平成17年度	貸出	0冊	2,428冊	1,612冊	4,040冊	6.4%
	借用	2,484冊	1,032冊	1,252冊	4,768冊	△4.2%

合計冊数で比較すると年々相互貸借は増えていますが、その伸び率を見ると、前年度に比べ貸出が6.4%伸びているのに対し、借用は△4.2%と減少しています。この現象は、昨年度にも同じ傾向が見られます。

しかし、個別に比較してみると、都立図書館との貸借が減少し、多摩六都との貸借が伸びていることが分かります。このことは、横断検索システムの普及によって、資料の所在状況がリアルタイムで確認でき、より早く資料が確保できる図書館に貸借申込をすることになり、相互貸借が都立図書館集中から分散型に移行している結果と考えられます。

#### (2) 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進

都立図書館のホームページでは図書館関係の多様な情報が提供されており、蔵書検索や東京都の図書館横断検索をはじめレファレンス申込みやレファレンス事例のデータベース、雑誌記事索引、図書館関係リンク集、法律情報・医療情報・ビジネス支援サービス等の充実した内容の情報が整備されています。

これらの情報を積極的に利用するとともに、より効率的かつ効果的な情報提供に努めるために、都立図書館の研修に積極的に参加し、担当者の連絡会議や研究会を通して図書資料情報ネットワークの推進を図りました。

#### (3) 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

多摩北部都市広域行政圏協議会の図書館専門委員会において、ホームページ版「多摩六都・図書館ガイドブック」の維持管理について検討を行い、平成17年11月より本格稼働を開始しました。（今後は、多摩北部都市広域行政圏協議会事務局が管理していきます。）

### 4. 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

#### (1) 資料収集と蔵書構成

- ① 平成11年度までは限定的な除籍を行っていたため、蔵書が毎年1万7千冊ずつ増加し続けており、このまま推移すれば、10年で17万冊増加し書架及び書庫の収容能力を超えることが予想されました。このため、組織的・継続的な蔵書の除籍及び廃棄方針が必要とされ、「小平市図書館資料の除籍等に関する要領」（平成12年3月1日制定）を策定しました。
- ② 平成13年度以降ブック・リサイクル（除籍資料の市民への無料提供）を開始し、これにより除籍冊数も以前の2倍近くになりました。また、資料購入費の減により毎年度約1万冊の蔵書減となっています。このまま推移すれば、10年間で10万冊の蔵書減となり、平成22年度には蔵書総数は112万冊となる見込みです。

【表 7】 除籍による蔵書数の推移

年度	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	年度末蔵書数	対前年増減
平成 7 年度	28,785 冊	905 冊	3,474 冊	1,089,493 冊	
平成 12 年度	35,373 冊	4,786 冊	26,658 冊	1,160,597 冊	1,626 冊
平成 17 年度	28,000 冊	2,300 冊	46,667 冊	1,172,643 冊	30,300 冊
平成 22 年度	27,000 冊	3,000 冊	39,900 冊	1,123,143 冊	△9,900 冊

③ 蔵書構成の評価基準として『日本の図書館』で用いられている「蔵書新鮮度」をみると、最近20年間は約3%強で、新鮮味の感じられない蔵書構成になっています。

(※ 蔵書新鮮度＝年間受入冊数／蔵書冊数)

(2) 雑誌

- ① 原則としてタイトル数の増加はせず、複本で所蔵があるもの、休刊・廃刊等になったものを中心に見直しを行いました。平成17年度からの購入中止雑誌は8誌、休刊・廃刊雑誌は4誌、新規購入雑誌は10誌となりました。
- ② 中央図書館参考室には、データ検索はできないが、受入・整理している寄贈雑誌が88誌あり、特別貸出で対応しています。

(3) 新聞

主要6紙は市内8図書館で所蔵し、縮刷版は各館で分担収集しています。

## 5. 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

(1) 録音資料

ボランティアグループの協力により、1タイトル(10巻)の録音資料を作成しました。(→12. 障がい者・高齢者サービス 参照)

(2) 映像資料(ビデオテープ・DVD)

① DVD60点、ビデオテープ(VT)30点を、映画・教養(記録)・児童等の各ジャンルより選定しました。

これらはすべて館内・館外貸出の著作権許諾済のものをMARC・装備付で購入していません。

② 館内利用はDVD1,083点、レーザーディスク(LD)887点、VT1,863点でした。

(3) 音楽資料(コンパクトディスク・カセットテープ)

① CD178点、カセットテープ78点を購入しました。(うちカセットテープは点訳サークルボランティアによる点字シールの貼付)

② ジャンルとしては、ポピュラー(邦楽・洋楽)・クラシック・児童・朗読・演歌・学芸・教養等の各ジャンルより選定しました。

③ 朗読CDは、素納品購入のため、自館装備をし、それ以外はMARC・装備付で購入していません。

④ 17年度より、貸出用保護ケースをソフトケースに変更し、スペースの確保と、装備代の削減を図りました。

## 6. 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

「小平市新長期総合計画・後期基本計画」の基本方針に郷土・行政資料の収集・保存が位置づけられ、貴重な資料を収集・整備し保存を行い、地域の人々が多様な利用ができることが求められていることから、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存に努めます。また、所蔵資料や情報の積極的な提供を図るため、地域資料のデジタル化を推進し、ホームページでの情報提供

に努めます。

地域資料の収集については、「図書館サービス計画」の別表1「図書以外の資料収集分担表」に従って全館で収集分担しており、平成17年度末の所蔵点数は次の「地域資料所蔵資料数」のとおりです。

【表8】地域資料所蔵資料数 (平成18年3月31日現在)

館名	資料名	開始年月	資料数
全館	地域資料	昭和50年4月	56,774
中央図書館	特別文庫	昭和60年7月	21,049
	古文書	昭和50年9月	27,020
仲町図書館	地域雑誌、タウン誌、ミニコミ紙	昭和61年1月	4,965
花小金井図書館	地域の広告、チラシ	昭和54年4月	50,000
喜平図書館	郷土写真のデジタル化	平成14年4月	5,700
上宿図書館	地域の新聞記事切り抜き	昭和52年2月	40,000
	郷土写真	昭和53年7月	55,000
津田図書館	地域のパンフレット、ポスター	昭和63年3月	3,866
大沼図書館	市内在住著作者資料	昭和60年7月	2,429
合計			266,803

(1) 地域資料（タウン紙・誌を含む）

- ① 地域資料の所蔵資料数は56,774冊で、昨年度から計画的に複本除籍を進めたことにより、前年度と比べて326冊の減となりました。  
資料の受入及び除籍数は次のとおりです。

【表9】地域資料の所蔵資料数

年度	受入資料数	除籍資料数	資料総数
平成16	2,039冊	2,656冊	57,100冊
平成17	2,011冊	2,454冊	56,774冊

- ② 地域雑誌、タウン誌、ミニコミ紙の資料数は4,965冊で、タイトル数は42誌です。この内現在刊行中のものは14誌となっています。
- ③ 市内在住著作者資料は、小平市にお住まいの方々の著作物をコレクションとして収集して利用に供しているもので、昭和60年7月に中央図書館で収集を開始し、平成13年1月に大沼図書館が引き継ぎ現在に至っています。平成17年度末現在の書誌数は2,362件、所蔵資料数は2,429冊となっています。

(2) 行政資料（国・都・市刊行物等）

『公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準』の総則には、「地方公共団体の政策決定や行政事務に必要な資料及び情報を積極的に収集し、的確に提供するよう努めるものとする。」とされ、行政資料の収集・提供が求められており、地域資料として積極的に収集しているところです。

【表10】平成17年度地域資料受入リスト（寄贈分）

分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数
A 総記	120冊	I 財政	104冊	O 教育	77冊	U 公害・災害	18冊
B 歴史	124冊	J 経済	12冊	P 文化施設	51冊	V 産業	54冊
D 地理	43冊	K 統計	23冊	Q 自然科学	7冊	W 交通・運輸	3冊
E 民俗	21冊	L 社会	77冊	R 土木・建築	4冊	Y 文学・芸術	10冊
F 議会	53冊	M 労働	41冊	S 都市施設	13冊	Z 特別コレクション	9冊
G 行政	112冊	N 福祉	54冊	T 保健衛生	30冊	合計	1,060冊

現在、行政資料は特に資料区分を行っていませんが、行政資料は寄贈資料として整理してい

ますので、平成17年度の地域資料寄贈分受入リストを分析することによっておおよその傾向が分かります。

この分類表のQを除くFからWまでは行政資料を主題とした分類なので、寄贈資料の大半は行政資料ですから、この合計の726冊程が今年度に収集した小平市や近隣市及び東京都発行の行政資料と考えられます。

また、国の行政資料は参考図書として受け入れている白書28冊と、寄贈資料11冊及び官報が主な収集資料です。

### (3) 地域の新聞記事切り抜き

- ① 小平に関する新聞記事の切り抜きは、昭和52年2月に開始して29年が経過し、152冊の原紙を製本し、約40,000点の記事が収録されています。この事業は、最初は小平市図書館（現仲町図書館）で開始し、昭和54年4月からは花小金井図書館が引き継ぎ、平成16年4月からは上宿図書館が引き継いでいます。
- ② 平成15年度と16年度の緊急雇用促進事業によって、平成15年までの記事については約40,000点の記事索引のデジタル化が済み、新聞記事管理システムに独自入力した平成3年1月から平成13年12月までのデータは15,757件に達しています。
- ③ 平成17年度の小平市及び図書館関係記事の収集件数は、1,598件です。

### (4) 郷土写真

- ① 郷土写真事業は、昭和53年7月に開始してから28年が経過し、定点撮影、テーマ別撮影、秘書広報課移管写真の合計は約55,000点となっています。事業開始のきっかけは昭和52年8月に開催した郷土写真展で、最初は小平市図書館（現仲町図書館）で開始し、昭和56年6月からは喜平図書館が引き継ぎ、平成16年4月からは上宿図書館が引き継いでいます。
- ② 定点撮影は、昭和56年以降210か所の撮影をしてきましたが、平成16年からは96か所に限定して撮影しています。また、喜平図書館では平成14年4月から郷土写真のデジタル化を開始し、今年度は2,207点のデータ入力が進み、現在約5,700点のデジタル化が完了しています。

### (5) 地域のパンフレット・ポスター

- ① ポスター収集事業は、昭和63年3月から津田図書館で開始したもので、今年度は366枚を新規に収集整理し、現在合計3,866枚のポスターを収蔵しています。
- ② 新聞折込広告の収集は、昭和54年4月に開始してから27年が経過し、収集した資料を「小平市リーフレット分類表」に従って分類整理した上で『小平市リーフレット（広告）』として製本しており、平成16年度分までで249冊、約50,000枚の資料が集積され、今年度は1,956枚の広告を収集しています。

### (6) 特別文庫の整理

特別文庫としては、久下司氏旧蔵書の久下文庫と伊藤好一氏旧蔵書の伊藤文庫があります。

#### ① 久下文庫

久下文庫は昭和58年から平成3年にかけて調査し、『久下文庫所蔵目録Ⅰ～Ⅳ』を刊行しています。その中には、図書6,161冊、雑誌3,335冊が収録されています。昭和60年7月の中央図書館開館に伴い特別文庫室に収蔵され、昭和63年7月に寄託契約書を取り交わしています。その後、平成7年11月に久下司氏が亡くなられ、全蔵書が寄贈されました。この内、和漢書の貴重書及び貴重書に準じるものは、大沼晴暉氏によって調査され、平成14年2月には斯道文庫論集第三十六輯として『久下文庫和漢書目録』、平成15年2月には斯道文庫論集第三十七輯として『久下文庫和漢書目録 続編』が刊行されています。また、『久下文庫所蔵目録Ⅲ』に収録されている近世以前の図書については、保存対策として平成10年

5月からアーカイバルボードによる保存箱作りを開始し、平成14年12月に完了しました。

## ② 伊藤文庫

伊藤文庫は、『小平町誌』の編さんに尽力され、近世史の研究にも大きな功績を残された伊藤好一氏の旧蔵書で、遺族のご好意によって平成11年3月に当館に寄贈されたものです。この貴重な蔵書が未整理のままになっていることを惜しみ、整理して利用できるようになることを願う日本近世史の研究団体で、歴史と実績のある関東近世史研究会の研究者の方々から声があがり、ボランティアで整理させてほしいという申出がありました。どのような形で整理を進めるかについて協議をし、平成13年1月から平成16年10月までの三年半に亘り月1回の整理作業が行われました。この結果、関東近世史研究会によってカード目録の作成が行われ、図書8,273冊、雑誌3,280冊が整理されています。

この成果は、『関東近世史研究 第57号』に「伊藤好一先生業績目録」として刊行されています。

## ③ 今年度の取り組み

伊藤文庫を書架に並べるために、花小金井図書館の移転に伴って移管可能な書架の調査を行い、排架方法の検討を行いました。

## (7) 古文書

① 古文書の整理事業としては、現在までに23家、27,020点の資料の整理が終了し、昭和54年から平成4年までに19冊の古文書目録を作成し、平成5年から史料集の編集発行に取り掛かり現在までに27冊を刊行しています。

② 今年度は、『小平市史料集第18集 村の生活4』と『小平市史料集第19集 村の生活5』を刊行しました。

③ また、古文書補修事業として東京都指定文化財の小川家文書40点のリーフキャストによる補修を実施しました。

## (8) こどもきょうどしりょうのデジタル化

平成16年度にデジタル化が終了し、ホームページで公開しています。17年度は次のような内容の見直しを行いました。

- ・ 原本の誤りによるデジタル版の誤りを一部修正しました。
- ・ デジタル化に際して転記ミスがあった部分を修正しました。

## (9) 地域資料リンク集の充実

① リンク基準を作成するための資料を収集し、主な図書館等のホームページを比較検討しました。

② リンク集データベースと検索システムをCGIで開発しました。システムへの移行は平成18年度に行う予定です。

## ひとロメモ

CGIとはCommon Gateway Interfaceの略です。通常のページでは、あらかじめ用意されたHTMLページを表示するだけですが、CGIを用いることにより、リンク集や検索システムのようなページを作成できるようになります。

## 7. レファレンス業務

利用者の資料相談に対応するため、各種辞典・事典・目録・索引・年鑑・統計書・法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンス業務の充実を図ります。

### (1) レファレンス資料の再整理及びデータベースの充実

#### ① レファレンス業務の充実

- ・レファレンス件数と記録表への記入は、中央図書館では平成13年1月から実施していますが、地区図書館でも平成17年5月より実施しました。
- ・レファレンス件数は17年度全館で32,452件を数え、中央図書館は16,759件と16年度の2倍の伸びとなりました。

【表11】レファレンス統計

年度	件数(中央)	件数(全館)	所蔵調査	参考調査
平成13年度	4,413		274	96
平成14年度	4,623		132	115
平成15年度	5,112		110	86
平成16年度	8,375		102	78
平成17年度	16,759	32,452	266	66

※ 所蔵調査(記録票記入済み、所蔵調査件数)、参考調査(記録票記入済み、参考調査件数)

#### ② 参考図書の発注・受入

- ・開館当時の資料も多いため、分野によっては古い内容の資料もありますので、今年度は買い替えに重点を置き、296冊の補充を行いました。
- ・継続資料の見直しと、資料として現時点で必要なものを優先的に発注しました。
- ・古い資料、利用価値が減少した資料は閉架に移し、書架整理を行いました。

#### ③ データベースの充実

- ・レファレンス事例のホームページでの公開については作成方法を検討中です。
- ・国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」については、今年度は新たな事例提供は行いませんでしたが、今後増やしていく予定です。

### (2) 小・中学校の総合学習や調べ学習の支援

#### ① 調べ学習時に必要な資料を紹介・提供しました。また、辞書の引き方、資料の探し方等のアドバイスと支援を行いました。

#### ② 中学生の職場体験時にレファレンスについて説明し、調べ方の実習などを行いました。

### (3) 行政情報サービス及び調査支援の検討

#### ① 行政支援サービスを実施している図書館への視察及び近隣図書館の実施状況の調査を実施しました。

#### ② 行政資料の収集方針・受入整理方法について検討を行いました。

### (4) 商業用データベースの活用

#### ① 平成16年度に社会教育活性化21世紀プランによって実施した商業用データベースの活用は、本年度は実施を見送りました。

#### ② 問い合わせに対しては、利用可能な他自治体・機関の図書館を案内しました。

### (5) 小・中学校の総合学習や調べ学習の支援

#### ① 小平市内の小・中学校が、図書館の図書を利用して授業を行う場合には、事前にテーマや希望図書リストを市立図書館に送付し、図書館が図書の貸出を行っています。今年度は小学校10校へ2,441冊、中学校5校へ733冊の図書を貸出しました。

#### ② ブックトークの依頼があった小学校には児童担当職員が出向き、読書指導の授業の支援を行いました。



## 8. 講座等の開催

### (1) ボランティア講座

夏休みの7・8月に延べ8回の「夏休み図書館ボランティア入門講座」を開催し、小学生から高校生までの11人が参加してボランティア体験をしました。内容としては、児童図書の排架、おはなし会のおみやげ作り、児童向けのおはなし会の誘導等を行ない、ボランティア体験で作成した「絵本のへや」の案内ポスターは、児童コーナーに展示しました。

### (2) 児童文学講演会等

子ども対象の「子ども科学講演会」は、過去の実績、各館の相互関係、他市の動向、市民の関心領域を考慮し、幅広く児童文学に関係する講演会等を実施しています。また、各館児童担当職員が中心となって行う「大人のためのおはなし会」、専門司書が担当する「児童文学紀行講座」、「読み聞かせ実践講座」も実施しています。

### (3) 昔話講座

民話のふるさと遠野に伝わる「遠野物語」や語り部について、ビデオや豊富な資料で紹介する3回連続講座を行い、のべ207人が参加しました。

### (4) おはなし学習会

おはなし会での良質のサービスを提供するために、図書館の職員と子ども文庫連絡協議会の担当者を対象に、専門の講師を招き「おはなし」（ストーリーテリング）を実演して講師から指導を受ける学習会を開催しています。今年度は8回実施し、延べ227人が参加しました。

## 9. 展示会等の開催

### (1) 図書資料展示会

アンデルセン生誕百年を記念し、デンマークのアンデルセンゆかりの地を訪ねる写真展と講演会を企画しました。これに合わせ、関連図書の展示と和歌山静子氏（絵本作家）の児童文学講演会及び絵本「ムルンとサルタイ」の原画展を行いました。

### (2) 障がい者対象図書資料展示会

- ① 「こだいら子ども読書月間」行事として、中央図書館・小川西町図書館で、図書館に関わるボランティアグループが作成した「布の絵本・さわる絵本」「点訳絵本」「拡大写本」などを展示しました。
- ② 図書館に関わるボランティアグループが作成した資料は実際に手に取れるように工夫しました。

### (3) 全国地方新聞元旦号展

地方新聞社の元旦号の新聞を全国の新聞社から寄贈していただいて展示しました。これに合わせて、地方新聞社等から刊行されている出版物の紹介を実施しました。今年度は、中央図書館では平成18年1月7日（土）から1月18日（水）まで、大沼図書館では1月21日（土）から1月26日（木）まで実施し、59紙の展示を行いました。

## 10. 児童サービス

### (1) 子ども読書活動の推進に関する啓発事業等の実施

「こだいら子ども読書月間」として、4月23日（土）の「こども読書の日」をはさんで約一ヶ月間、市内全図書館で児童図書の展示、絵本の読み聞かせ等を行いました。

### (2) 「小平市子ども読書推進計画」の推進

子ども読書推進計画の最重要課題である学校図書館の総合的蔵書管理システムの導入については、小学校及び学校図書館ボランティアの協力と中学校のデータ入力委託事業によって、市立小・中学校全校の全蔵書（21万冊）のデータ入力完成了しました。

(3) おはなし会

児童を対象に4歳から1年生、小学生と2回に分け、おはなし（ストーリーテリング）と絵本の読み聞かせを行っています。参加人数は前年度 5,674 人に比べ 4,908 人と減少気味ですが、年間 20 回以上参加している児童もいます。

【表 12】おはなし会の開催回数と参加人数

図書館名	低学年		高学年		合計	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
中央	50 回	1,038 人	49 回	415 人	99 回	1,453 人
仲町	23 回	219 人	23 回	270 人	46 回	489 人
花小金井	23 回	240 人	23 回	155 人	46 回	395 人
小川西町	23 回	261 人	23 回	116 人	46 回	377 人
喜平	23 回	604 人	23 回	266 人	46 回	870 人
上宿	23 回	348 人	23 回	159 人	46 回	507 人
津田	23 回	153 人	23 回	157 人	46 回	310 人
大沼	23 回	274 人	23 回	233 人	46 回	507 人
合計	211 回	3,137 人	210 回	1,771 人	421 回	4,908 人

(4) 絵本のへや

手遊びや、わらべうたなども取り入れ、2・3歳児とその保護者を対象に実施しています。また、3～4か月児健診時にも紹介し参加を呼びかけています。今年度はのべ 99 回開催し、1,507 人の参加者がありました。

【表 13】絵本のへやの開催回数と参加人数

	開催回数	幼児参加人数	大人参加人数	合計
中央	15 回	188 人	171 人	359 人
仲町	12 回	61 人	49 人	110 人
花小金井	12 回	115 人	89 人	204 人
小川西町	12 回	57 人	56 人	113 人
喜平	12 回	182 人	169 人	351 人
上宿	12 回	44 人	32 人	76 人
津田	12 回	82 人	62 人	144 人
大沼	12 回	80 人	70 人	150 人
合計	99 回	809 人	698 人	1,507 人

(5) 学校課題図書および図書館推薦図書の別置

- ① 夏休み前に地区図書館が担当する地域の小・中学校から課題図書リストの連絡してもらい、期間中、児童コーナーに別置して貸出を行いました。
- ② 図書館が作成した小・中学生向けの「おすすめ本」紹介リストを学校から配布し、その本を夏休みの期間中別置し貸出を行いました。

(6) 乳幼児に対する推薦図書リストの配布および読み聞かせの実践

- ① 健康センターで月2回行われる「3～4か月児健診」の際、市内の図書館の児童担当者が毎回2名で出向き、健診の待ち時間を利用して、絵本の紹介をしながら図書館が作成した赤ちゃん絵本リスト「よんでよんでの絵本みつけた」の配布を行いました。
- ② 来場している赤ちゃんや兄弟姉妹に実際に読み聞かせの実演や、図書館の読み聞かせの会「絵本のへや」の紹介をしたり、子どもに本に親しんでもらうことの大切さを呼びかけました。

(7) 児童書の分類作業促進及び蔵書管理の検討

- ① 絵本を利用しやすくするため、物語絵本を画家ごとに並べかえ、ノンフィクション絵本は日本十進法（NDC）によって分類するなど開架の変更作業はすべて完了しました。
- ② 汚損のひどいものや統計資料が古くなった図書等は除籍を行い、資料として保存すべきものに

については中央図書館の書庫に保存してあります。

- ③ 複本が多いものについては除籍を行い、有効利用を図るため、リサイクル資料として市内の学校や保育園など公共施設へ 1,756 冊を提供しました。
- (8) 子ども文庫への図書団体貸出  
小平市内にある小平市子ども文庫連絡協議会の子ども文庫に17年度は新たに157冊の児童図書の貸出を行い、文庫の総蔵書数は現在7,339冊となっています。今年度は、市内の6つの子ども文庫でのべ2,612人の子どもに合計4,994冊の図書を貸出しました。

## 11. 小・中学校との連携

- (1) 図書館見学  
市内の小学校3年生の図書館見学を受入れ、今年度は15校の41学級1,301人の児童が参加しました。
- (2) 図書団体貸出  
対象：市内の子ども文庫、市内の小・中学校、小平市立学童クラブ、その他読書に関する団体で、教育委員会がみとめるもの  
選本：申請者が選本。各団体50冊以内。  
期間：3ヵ月＝学期単位  
方法：学年が3クラス以上の場合は、1学期ごとにクラスごとに入れ替え、3学期末に返却。  
今年度は、小学校16校へ10,351冊、その他栄養士の保育園での栄養指導等に使う図書の貸出などが429冊ありました。
- (3) 職場体験学習の受入れ  
中央図書館・仲町図書館・喜平図書館・津田図書館・大沼図書館の5館で小学校4年生2人、中学校4校の1・2年生19人の職場体験を受入れ、図書館のカウンターサービスなどを実際に体験してもらいました。

## 12. 障がい者・高齢者サービス

- ・ 障がい者サービスは、小川西町図書館を中心館として位置づけ、中央図書館では著作権や対面朗読室、対外対応を担当しています。
- ・ ボランティアの朗読サークル4団体、点訳サークル2団体、拡大写本・布の絵本のサークル1団体、社会福祉協議会などと連携をとり、図書館利用に障がいのある人へのサービスを行っています。
- ・ 平成18年3月には、毎年1回行っている交流会を開催し、障がい者、図書館、社会福祉協議会、ボランティア団体、小平図書館友の会等と意見交換を行いました。
- (1) 対面朗読  
平成18年度にむけてPR用の利用案内を作成中です。
- (2) 録音図書（カセットテープ）の作成及び貸出
  - ・ 録音図書については、本年度は1タイトル10巻のテープを作成しました。所蔵点数は、197タイトル1,130巻です。
  - ・ 録音図書は、国内の図書館から貸出依頼があれば郵送で貸出しているが、今年度は17タイトルの貸出がありました。
  - ・ 今年度の郵送貸出提供数は、503タイトル、デージー図書16タイトルです。
  - ・ 障がい者及び高齢者に対し、前年度に引き続き録音図書とは別にカセットテープの貸出（1人5タイトル、10巻まで）を実施しました。
- (3) 在宅障がい者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施

視覚障がい者に対し郵送貸出を実施しました。

- ・録音資料 503 タイトル (2, 146 巻)
- ・図書資料 6 点
- ・ページ図書 16 点
- ・点字資料 129 点

(4) 障がい者宅配サービスの研究

障がいがあるため来館が困難な利用者に対するサービスとして、引き続き宅配サービスに関する情報交換等を行いました。

(5) 福祉講演会

福祉講演会「高齢者も楽しい車椅子でできる健康体操とレクリエーション」を11月27日(日)に開催し、19人の参加がありました。(小川西町図書館)

(6) 障がいのある児童・生徒に対する読み聞かせを見学時等に随時実施しました。

(7) 点字図書目録(点字版)及び点訳図書を作成しました。

(8) 障がい者、高齢者を対象としたCD(148点)、カセットテープ(78点)、大活字本(4セット)を購入し資料の充実を図りました。

### 13. 遠距離通勤者サービス

開館時間の延長は利用者や市議会からも要望されていますが、開館時間内の来館が困難な遠距離通勤者に本の受け取りの便宜を図るための方法について検討しました。

なお、解決すべき課題がありますので、他の方法の研究も進めながら、検討を続けます。

### 14. 複写サービス

今年度は、個人情報の保護のため、「図書館資料複写申込書」の改定を行い、下記のとおり書式にしました。

主な改定内容は、氏名、住所を削除したことです。

【図1】図書館資料複写申込書

図書館資料複写申込書		
小平市立図書館長 あて		
著作物の複写は以下のとおり、著作権法第31条に基づいて行ないます。 コピーをとる前に注意事項を確認のうえ、太枠内を必ず記入してください。		
1. コピーできるのは、小平市立図書館で所蔵している資料のみです。		
2. 図書館におけるコピーは、調査研究目的にかぎります。		
3. コピーの範囲は、一著作物の一部分(半分以下)です。また、同一部分を2枚以上コピーすることはできません。		
4. コピー料金は、用紙サイズにかかわらず1枚10円です。		
		申込年月日 平成 年 月 日
資料名またはバーコードの番号	コピーする部分	枚数
	ページから ページまで	
	ページから ページまで	
	ページから ページまで	
	ページから ページまで	
	ページから ページまで	
		合計枚数 枚

## 15. リクエストサービス

利用者の求める図書資料を提供するリクエストサービスは、増加傾向が続いています。平成14年10月からは、館内OPAC（所蔵目録の検索機器）を使っでの予約を開始し、平成15年2月からはweb予約（インターネット予約）を開始しました。また、全件予約は平成15年7月から開始しました。これによって、小平市内の全館が、所蔵している在庫を含む図書・雑誌に対する予約が可能となりました。

【表14】リクエスト件数の推移

年度	件数	前年度比	カウンター受付	館内OPAC	web-OPAC
平成13年度	48,947件		48,947件		
平成14年度	67,754件	138%	18,653件	23,167件	532件
平成15年度	125,174件	184%	35,402件	54,672件	35,100件
平成16年度	168,364件	134%	36,827件	57,651件	73,886件
平成17年度	187,873件	112%	36,871件	57,590件	93,412件

### ひとこめ

平成5年度から平成14年度にかけての10年間の伸びは、2倍であったのに対し、平成14年度から17年度は3倍になっています。カウンター予約、館内OPACはほぼ同じですが、web-OPACでの予約増が顕著です。

この予約の伸びにともない、予約資料の準備、連絡などの事務量も増大しています。予約資料の延滞者への電話での連絡も増えています。予約者へのメール連絡の利用も増えてはいるものの、抜本的な対策として、今後は新たな連絡システムの検討が必要です。

### ひとこめ

未所蔵資料については、東京都立図書館から2,484冊、多摩六都からは1,032冊、その他の三多摩の市からは1,252冊、23区から221冊、他県から5冊、国会図書館からは3冊の計4,997冊を借用することによって対応しました。これは都立図書館の図書館横断検索を利用して区市町村の市立図書館の蔵書検索が簡単になり、また図書館間のweb予約が可能になったことも借用の機会が増えた要因のひとつと考えられます。しかし、主なよりどころである都立図書館の貸出期間の35日への短縮や、新刊予約の制限など、新たな課題も持ち上がっています。

## 16. 図書館関係団体に対する援助・連携

- (1) 子ども文庫に対する補助金（平成17年度は285,000円）
- (2) 子ども文庫連絡協議会、こだいら図書館友の会とはそれぞれの特色を生かした講演会を共催で行いました。

### ① 子ども文庫連絡協議会との共催

日時：平成17年10月13日（木）

会場：中央図書館

演題：「絵本から物語の世界へ」

講演：山花郁子氏（児童文学作家）

参加者：62人

### ② こだいら図書館友の会との共催

日 時：平成 17 年 11 月 5 日（土）  
 会 場：中央図書館  
 演 題：ビデオ上映と講演『杉原知畝命のピザ』  
 講 演：本間浩氏（法政大学教授）  
 参加者：96 人

## 17. 図書清掃の実施

利用者に、図書を気持ちよく借りていただくため、図書館サービスの一環として、返却本のエタノール消毒を行っています。平成 17 年度は、下記の内容でシルバー人材センターに業務委託して実施しました。

【表 15】図書清掃（消毒）の実施状況

館 名	実施時間・曜日	
中央図書館	9 時 ～ 12 時	火・水・木・土
	9 時 ～ 15 時	月・日
仲町図書館	13 時 ～ 16 時	水・土
	13 時 ～ 15 時	月
花小金井図書館	9 時 ～ 12 時	木・土・日
	13 時 ～ 16 時	火
小川西町図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土
喜平図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・日
上宿図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土
津田図書館	13 時 ～ 16 時	水・土
	13 時 ～ 15 時	月
大沼図書館	13 時 ～ 16 時	月・水・土

## 18. 施設の運営管理

### (1) 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理

図書館及び東部・西部市民センターを、市民の方々が気持ちよく安全に利用していただくために、定期的に各施設や設備の点検を行いました。

この点検により、いくつかの不具合箇所が早期に発見でき、補修及び修繕を行いました。

### (2) 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）

集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成 17 年度の利用は、喜平図書館で 503 件、上宿図書館で 265 件、合計は 768 件でした。

【表 16】集会室貸出推移

年度	喜平図書館	上宿図書館	合 計
平成 15 年度	457 件	380 件	837 件
平成 16 年度	429 件	295 件	724 件
平成 17 年度	503 件	265 件	768 件

### (3) 各図書館の施設・設備改修計画の見直し

各図書館の施設が老朽化により、施設修繕が年々増えてきています。平成 17 年度には次のような修繕を行いました。空調機器の修繕が目立ちました。

施設老朽化等による高額な修繕が目立っており、10 万円以上の経費を必要とした修理は 45 件中 15 件ありました。今後は、優先順位を決めて施設・設備改修計画及び修繕計画を進めます。

【表 17】修理等の実績

館名	件数	修理内容 (10万円以上のもの)
中央図書館	8	空調機老朽部品交換、排風機修理
仲町図書館	8	空調機修繕 (2機)、雨水桝取替
花小金井図書館	6	空調機冷水ポンプ修理、自動ドア老朽部品交換
小川西町図書館	11	掲示ボード修繕、エレベータ非常電話修理、消防施設修理、電気時計修理、自動ドア修理
喜平図書館	3	書庫蛍光灯修理
上宿図書館	3	非常口ドア修理、空調機修理
津田図書館	3	
大沼図書館	3	
合計	45	

※ 花小金井図書館、小川西町図書館は市民センターの修理を含む。

## 19. 蔵書管理

### (1) 未返却図書の督促

- ・ 借用者に対する未返却図書返却のお願いを、1月と蔵書点検月の6月を除き年10回発送しました。
- ・ 長期延滞者とリクエスト資料の延滞者に対しては電話による督促を行いました。
- ・ この他、貸出時に未返却資料のある方に対しては、随時督促を行いました。

### (2) 図書の整理・修理

- ・ 長期にわたる保存や頻繁に行われる貸出や交換便移動等により、新しい資料等であっても経年劣化し、汚損・破損を受けるものが多いのが目立ちます。
- ・ 新規に買い替えの他、絶版等により新規購入ができないもの等について、手作業で補修・修理等を施して資料の確保・保存・貸出に対応しました。
- ・ 中央図書館での作業の一部は、図書館ボランティアの奉仕活動によって実施しました。

【表 18】資料等補修・修理実績

内 訳	件 数
ボランティア	2,632
資料係	466
合計	3,098

### (3) 図書の選書・発注・受入

児童・一般の各館担当者が、選書を行い、週1度、選書会議を行っています。

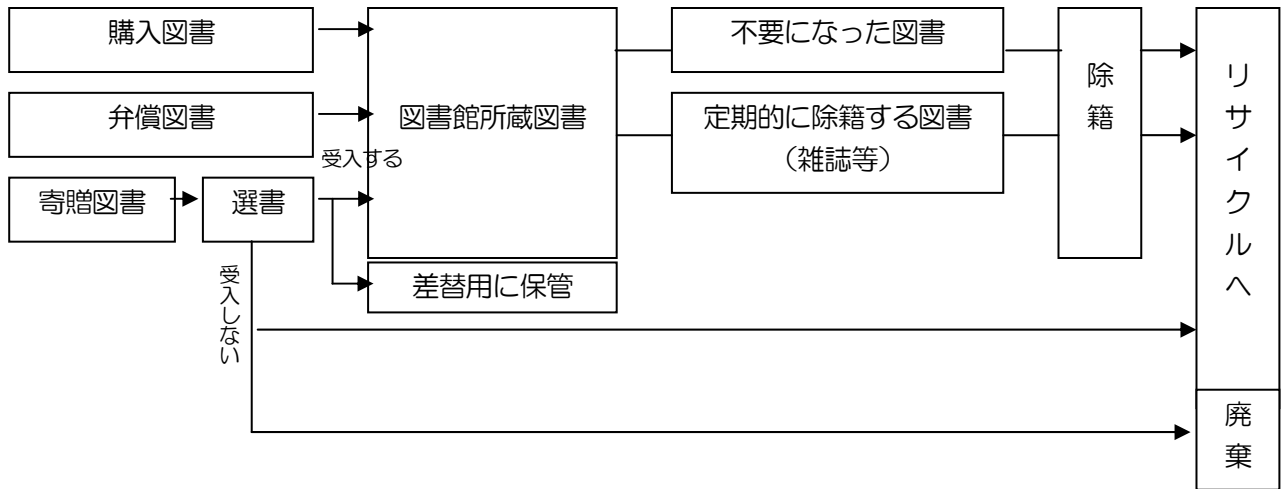
現在、小平市図書館の資料は、TRC・小平書店会・紀伊国屋書店及び直販から購入しているが、発注から装備納品まで1週間程度と、スピーディな受入に努めています。

### (4) 除籍図書・寄贈図書のリサイクル

#### ① 除籍図書のリサイクル

図書館資料はさまざまな理由で壊れたり汚れたり、内容が古くなって使えなくなってしまうことがあります。また、貸出や交換便による移動等によって、徐々に傷んでいくため、資料の状態に応じて除籍・廃棄していく必要があります。また、書架の収容能力にも限界があるため、随時資料の点検と再評価を行って、計画的な除籍・廃棄していくことが求められています。

【図2】除籍図書・寄贈図書のリサイクルの流れ



このように、適切な資料等の加除により、市民にとっていつも魅力ある書架と資料等の構成を確保していくために、資料等の適切な随時の除籍・廃棄が必要です。

また、除籍資料の大半は、ブック・リサイクル事業により無料で市民に提供しました。

【表19】除籍及び寄贈図書受入件数

除籍の内訳	件数	寄贈受入件数
複本・不要	38,353	
亡失	4,874	
汚損・破損	3,085	
紛失	217	
合計	46,667	3,010

② ブック・リサイクル事業

この事業によって、図書館が所蔵する資料を絶えず更新し、書架スペースの確保に努め、効率的な蔵書管理を図りました。さらに、リサイクルという時代の要請に応え、資源の有効活用を目指しています。

【表20】ブック・リサイクル事業の実績

日時	対象	提供した冊数
平成17年10月22日(土)	一般書・文学書	11,039冊
平成18年1月21日(日)	雑誌・週刊誌	13,395冊
平成18年2月18日(日)	一般書・文学書	7,962冊
合計		32,396冊

(5) 蔵書管理基準の再検討

より多様な図書資料を揃えるために各図書館が重点収書や分担収集を行っています。

これらについて現状を考慮し、平成17年度は以下の再検討を行いました。

- ・ 出版有無の再確認、また、出版されなくなった文庫・新書の収集分担表からの削除。
- ・ 予約の目立つ文庫・新書についての収集館の追加。
- ・ 出版頻度、リクエスト等が増加した、その他文庫扱いの文庫の、収集分担表への追加。さらに、旅行ガイドについても収集館の割り振りを見直しました。



## 20. 職員研修及び施策形成参画機会の拡充

### (1) 司書講習会への派遣

図書館職員としての専門的知識と技術を習得するため、3名の職員を派遣し、図書館職員の充実を図りました。

【表21】司書講習先及び期間

講習先	講習期間
亜細亜大学	平成17年7月23日～9月17日

### (2) 実務研修・各種研究会への参加

東京都多摩地域公立図書館大会、図書館科（東京都市町村研修所）、著作権講習会（著作権協会）の各種研修会に職員を派遣し、専門性の向上、職員一人ひとりの知識の向上を図りました。

### (3) 各種職場研修の実施

全館の全職員を対象に年4回（4月・7月・10月・12月）の図書館職員研修会を開催し、毎回テーマを設定して図書館事業の意義や課題について研修を深めるとともに、専門研修参加職員からの指導、報告及び職員を講師とした専門研修を開催しました。職員一人ひとりの小平市立図書館職員としての専門性を高めました。

【表22】職場研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成17年4月15日	図書館の運営と事業計画	全職員及び嘱託職員
平成17年7月21日	著作権と複写サービス 最近の動向について 図書館の勤務体制等	全職員
平成17年10月21日	ディスカバリー図書館2004について 図書館製本の方法（実技）	全職員
平成17年12月15日	利用のための資料保存について 情報セキュリティについて	全職員

## 21. 実習生及び視察等の受入れ

### (1) 図書館実習生（大学生等）の受入れ

#### ① インターンシップ制度に基づき受入れを行いました。

平成17年8月9日～8月22日 嘉悦大学2名、創価大学2名

#### ② 図書館学課程履修生の受入れを行いました。

平成17年8月9日～8月22日 実践女子大学1名、東海大学1名

### (2) 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入れ

#### ① 図書館見学

【表23】図書館見学の受入れ実績

図書館名	小学校数	クラス数	人数	幼稚園数	クラス数	人数
中央	4	9	276	1	3	95
仲町	1	3	90			
花小金井	1	2	40			
小川西町	1	3	96			
喜平	3	8	272			
上宿	2	4	130			
津田	2	5	158			
大沼	2	7	239			
合計	16	44	1,301	1	3	95

図書館見学は主に小学校3年生が対象で、図書館の利用方法の説明、おはなし会、図書の貸出、館内見学の内容で実施しました。

今年度の図書館見学は、小学校 16 校の 44 クラス・1,301 人と幼稚園 1 園の 3 クラス・95 人でした。

## ② 職場体験

職場体験は主に中学生を対象に受入れをしました。主に、カウンター業務を中心に、図書排架、図書整理等を体験してもらいました。

【表 24】職場体験の受入れ実績

図書館名	小学校数	人数	中学校数	人数
中央			1	5
仲町			1	2
喜平			2	3
津田	1	2	1	2
大沼			1	7
合計	1	2	6	19

今年度の図書館見学は、小学校 1 校の 2 人と中学校 1 校の 19 人でした。

## 22. 広報活動

### (1) 夏休み親子一日図書館員の開催

今年で 16 回目の事業を、中央図書館と地区館で実施しました。

日 時 平成 17 年 7 月 24 日 (日) 午前 9 時～正午

会 場 中央図書館、地区図書館 (7 館)

参加者 9 家族 (20 人)

### (2) 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー、多摩六都図書館ガイドブック等の作成・配布

図書館紹介・利用案内・図書館カレンダーについては、毎年見直しを行っています。今年度は次のような改定を行いました。

- ・ 図書館カレンダーを定期券入れに入る大きさに変更しました。
- ・ 多摩北部都市広域行政圏協議会において発行している多摩六都図書館ガイドブックは、今後も内容の充実を図り発行を継続することになりました。

### (3) 新刊・新着図書案内の発行

- ・ 購入等によって新しく所蔵した図書や視聴覚資料について広報するために、新着図書・資料案内を月 2 回中央図書館及び各地区図書館で作成し、利用に供しました。
- ・ 図書館ホームページの新着案内は週 1 回更新し、図 3 のようにジャンル毎に検索できるようにしました。

【図3】図書館ホームページの新着案内

対象資料	ジャンル	
<input checked="" type="checkbox"/> 図書	<input checked="" type="checkbox"/> 総記・哲学・心理・宗教・言語	<input type="checkbox"/> 家庭・手芸・料理・育児
	<input type="checkbox"/> 歴史・伝記・地理・旅行	<input type="checkbox"/> 芸術・スポーツ・趣味
	<input type="checkbox"/> 政治・法律・経済	<input type="checkbox"/> 文学一般・日本文学
	<input type="checkbox"/> 社会・教育・民俗学・軍事	<input type="checkbox"/> 外国文学
	<input type="checkbox"/> 自然科学・動植物・産業	<input type="checkbox"/> 子供の本
	<input type="checkbox"/> 工業・コンピュータ・医学	<input type="checkbox"/> 絵本・紙芝居
<input checked="" type="checkbox"/> AV	<input checked="" type="checkbox"/> 録音資料	<input type="checkbox"/> 映像資料
表示順序	<input checked="" type="checkbox"/> 書名順 <input type="checkbox"/> 著者名順 <input type="checkbox"/> 出版社順 <input type="checkbox"/> 分類順 <input type="checkbox"/> 出版年順（降順） <input type="checkbox"/> 出版年順（昇順）	
最大表示件数	50	

(4) 市報等の活用（「図書館アラカルト」、行事等

平成17年度も引き続き、市報を利用し「図書館アラカルト」をはじめ、各種行事案内を掲載しました。

(5) 図書館標語の活用

「しおり」などを利用して、図書館標語をPRしていますが、今年度は積極的に、図書に「しおり」を装備しました。

(6) 図書館ホームページの整備・活用

- ・平成18年度に実施予定の図書館ホームページの更新に向け、準備を進めました。
- ・簡単な手直しについては、そのつど実施しました。

## 23. 大学図書館との連携

大学図書館との連携については長年の課題であり、嘉悦大学図書館とは事務的な話し合いをして、嘉悦大学図書館の利用案内及びホームページに小平市立図書館の利用案内が紹介され、レファレンスの相互協力をするようになっていますが、平成17年度は連携に関する取り組みは未着手でした。

# 各地区図書館の事業の成果

## 1. 仲町図書館

地域資料の収集・整理・保存事業として、多摩地域及び東京都内で発行される、郷土に関する雑誌、自治体で発行する広報紙等の逐次刊行物を収集しています。

### (1) 収集内容

① 雑誌(タウン誌・ミニコミ紙)

② 地域新聞

(多摩地域各市及び東京都で発行する広報紙・議会報・文化施設の発行する新聞)

### (2) 17年度実績

① タウン誌・ミニコミ紙 24タイトル(有料のもの 16タイトル)

② 広報紙 33市町村各紙(東京都含む)

### (3) 合冊製本

過去に収集したタウン誌の製本合冊

17年度 10冊(5タイトル×2冊)

・東京かわら版(寄席、日本橋地域情報誌)

・THE・KITIJYOUJI(吉祥寺地域情報誌)

・荻窪百点(荻窪地域情報誌)

・月刊日本橋(日本橋地域情報誌)

・月刊味覚春秋(銀座・麻布味覚情報誌)

### (4) 新聞切り抜き

平成15年分多摩版(朝日・毎日・読売・東京・日経)の切り抜き・製本

(所蔵は中央図書館)

## 2. 花小金井図書館

### (1) 花小金井図書館(東部市民センター)移転事業

花小金井図書館は昭和54年5月に開館し、以来花小金井地域の図書館として生活・文化の拠点の役割を担ってきました。その後、花小金井北口都市基盤整備事業の一環として平成17年1月着工、平成18年2月竣工、5月8日花小金井図書館(東部市民センター)はリニューアルオープンを迎えました。なお旧館での業務は3月31日まで行い、引越し等開設準備のため4月1日から5月7日は休館としました。

今年度は館の日常業務を行いながら、新館開設の準備を行いました。ほぼ同じ規模の新館なので、「資料の整備」を中心に取り組みました。重点を置いたことは買い替え、寄贈図書の入、不要図書の除籍(11,000冊)でした。その結果、総冊数では変わらないものの、新しい図書を増やして開館することができました。

### (2) リーフレット収集事業

従来花小金井図書館が担当していた地域資料関係の「新聞切り抜き事業」「多摩版収集事業」は他館に移管し、リーフレット収集事業のみを花小金井図書館で行うことにしました。

スーパーのチラシや求人広告など小平市内の宅配新聞の中に織り込まれているチラシを35の件名に分類し、約2,000枚を収集しました。今後は、そのリーフレットを3から4分冊に製本し保存していきます。

### 3. 小川西町図書館

平成17年度は、小平市立図書館のネットワークを構成する地区図書館の一つとして、事業計画に基づき各種事業を展開し、多様化する市民ニーズに応え、地域の市民を中心に図書館資料の利用増進と学習の場の拡大に努めました。

#### (1) 展示会等の開催

館内の展示コーナーにおいて、視力に障がいのある人のための点字図書や、障がいのある子どものための布の絵本・布の遊具等の展示を通年実施するとともに、子ども読書の日関連展示「小平子ども読書月間」を開催しました。

#### (2) 障がい者サービス

図書館利用に障がいのある人や高齢者の利用の推進を図るため、福祉講演会「高齢者も楽しい車椅子でできる健康体操とレクリエーション」を開催しました。

また、視覚障がいのある人に対し録音図書・点字図書・点訳絵本の貸出を実施するとともに、障がいのある子どもやグループに布の絵本の貸出を行い、郵送による録音図書貸出の実施によりサービスの促進を行いました。

### 4. 喜平図書館

昭和56年6月27日に開館した喜平図書館は、小平団地の東南の角にあり、明るい環境の中で地域利用者が気軽に利用できる図書館です。

#### (1) 教科書

小・中学校用教科書は、開架フロアーに置き、貸出・閲覧を行っています。

【表20】教科書の所蔵点数

種 目	種類数	点数	種 目	種類数	点数
国 語	5	60	音 楽	3	18
書 写	5	30	図画工作	3	18
社 会	5	30	家 庭	2	2
地 図	2	2	保 健	5	10
算 数	6	66			
理 科	5	32	合 計	50	286
生 活	9	18		(16社)	

平成17年度に小学

校教科書が改定されたため、表のとおり受入をし、貸出・閲覧を行いました。

平成17年度の小学校教科書の貸出数は211冊、中学校教科書の貸出数は92冊でした。

#### (2) 郷土写真資料

郷土写真資料の収集保存事業は、主に(収集)、(保存)、(利用)、(広報)の4つの要素から成り、それぞれの事業を有機的に連動させて実施しています。なお、平成14年度からデジタル化にするため、シルバー人材センターに委託しデータ入力しています。平成17年度は、2,207件のデータを入力しました。

#### (3) 集会室

集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成17年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて61団体が利用しています。なお、集会室の利用内訳は、次の表のとおりです。

【表 21】喜平図書館の集会室利用状況

	午前	午後	夜間	合計
第1集会室	88	64	23	175
第2集会室	97	70	25	192
和室	93	29	14	136
合計	278	163	62	503

## 5. 上宿図書館

(1) 図書以外の資料収集としては、次のような事業を実施しました。

①「小平市に関する新聞記事切り抜き」

平成16年分として、原紙5分冊、複写2分冊（2セット）を製本しました。

\*昭和55年4月から朝日・産経・東京・毎日・日経・読売新聞について切り抜き整理・保存しています。

②郷土写真資料の撮影保存

平成17年度には、市内96カ所の定点撮影をしました。

\*昭和56年度から平成15年度までは210カ所の定点撮影を実施してきましたが、事業の見直しによって平成16年度からは96カ所に変更しています。

(2) 集会室

平成17年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて35団体が利用しています。なお、集会室の利用内訳は、次の表のとおりです。

【表 22】上宿図書館の集会室利用状況

	午前	午後	夜間	合計
第1集会室	39件	28件	16件	83件
第2集会室	68件	50件	30件	148件
和室	14件	10件	10件	34件
合計	121件	88件	56件	265件

## 6. 津田図書館

津田図書館は、ポスター等事業の収集分担館として、本市内で発生したもののほか、本市の行政や市民生活に関係する外部から送付されたものを含めて、昭和62年（1987年）7月の開館以来、組織的に収集・整理・保存しており、その実績は次のとおりです。

【表 23】ポスター等収集実績一覧表

年度	受入点数	年度	受入点数
昭和62	169	平成9	358
63	255	10	201
平成1	105	11	216
2	58	12	227
3	79	13	178
4	160	14	152
5	196	15	290
6	127	16	360
7	207	17	366
8	162	合計	3,866

## 7. 大沼図書館

市民の暮らしに役立ち、身近で気軽に利用でき、親しみの持てる図書館として、事業・行事によるPRを通じ、図書館への関心を高め、利用の促進を図りました。

### (1) 主な事業

- ・図書館30周年記念事業の実施にあたり、大沼図書館のコーナーを設け、館の紹介、市内在住著作者の作品、地方出版物の紹介を行いました。
- ・ふるさとの新聞元旦号展を、1月21日（土）から26日（木）まで開催した。（協力59社）
- ・児童書と一般図書それぞれ毎月テーマを決めて、テーマに関する本を別置して展示し、利用の促進を図りました。
- ・小・中学校との連携を図り、学校の総合的な学習の支援を行いました。
  - ブックトーク 小平第十一小学校1年生
  - 研究授業 小平第七小学校6年1組
  - 図書館見学 小平第七小学校3年生 139人  
小平第十一小学校3年生 93人
  - 職場訪問 小平第六中学校1年生5人
- ・地域にある施設として、六中地域ネットワーク会議（地域の子どもを地域で見守り、健全に育てる目的で、地域の学校、関係機関により立ち上げた組織、年間5回）に大沼公民館とともに出席し、図書館の事業のPR、地域の子どもの健全育成に関する情報交換を行いました。

### (2) 展示

【表 24】大沼図書館の年間展示実績

月	テ ー マ	
	児 童 書	一 般 書
4月	1ねんせいの本・がっこうの本	児童読書週間（おはなし会で人気のあった本）
5月	お母さんの本	森と緑
6月	お父さんの本・みどりの本	図書館へ行こう
7月	雨の本	串田孫一氏を偲んで
8月	夏の本・旅行の本・戦争の本	市内在住著作者の絵本
9月	おじいさん・おばあさんの本	武蔵野
10月	秋の本	ファンタジーをめぐる旅へでかけてみませんか
11月	音楽・美術の本	市内在住著作者・地方出版図書（30周年事業）
12月	クリスマスの本	過去10年間の芥川賞・直木賞
1月	雪の本、お正月の本	初級トラベル会話
2月	雪の本、冬の本、鬼の本	球春（高校野球・プロ野球）
3月	春の本、花の本、ひなまつりの本	

# 参 考 資 料

- 資料1 小平市立図書館サービス計画（平成16年7月22日決裁）
- 資料2 小平市立図書館への提言  
「心を豊かにする図書館をめざして」（平成17年3月31日）
- 資料3 平成17年度小平市立図書館統計（平成18年9月現在）
- 資料4 小平市子ども文庫連絡協議会事業報告（平成17年度）